事務事業評価表

部長 課長 係 長 担当者

					令和5年度								
事業名		障が	い者	í総合	支援認定審	香会運営事	業	担当課		社会福祉課			
基本目標	2	健やな	かでや	さし	ハ健康・福祉の	まち		担当係		障がい福祉係			
施策項目	4	障がし	ハ者支	援				計画期間		令和5年	F度 ~	-	令和7年度
主な取組	1	生活	支援の	充実				事業区分		直営			
予算科目	会計 款 項 目 大事業												
了异科日	1	3	1	2		障がい福祉諸費							
目的と方針 【PLAN】		障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。											
事業概要 【PLAN】	障;	がい支	援区分	分の認	定を行う審査会	⋛を実施します	0						
対象 【PLAN】	障が	い者				意図 【PLAN】		がい支援区分の認定を実施し、適正な障害福祉サー 給できるようにする。					章害福祉サー
意図の実現の ために必要な こと【PLAN】	毎月	毎月、審査会を実施し、適正な障がい支援区分の認定を実施する。											

事業費【DO】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
		車支出金	千円	0	0	0			
財	都道座	苻県支出金	千円	0	0	0			
源	t	地方債	千円	0	0	0			
内	2	その他	千円	0	0	0			
訳	_	-般財源	千円	1, 015	1, 056	1, 388			
	事	業費合計	千円	1. 015	1.056	1. 388			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		実績値が	目標値	12	12	12	12	12
審査会の実施	回	目標値	美領他	12				
		以上 と なること	達成率	100. 0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	5万/五·48 上	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)						
	評価視点	評価の結果						
必要性	社会的需要についてどうか	障害者総合支援法に規定されている審査会であるため、市民(障がい者)ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。						
有效性	付じさるか	障がい認定区分がないと受給できない障害福祉サービスがあるため、社会貢献度は高い。						
対 率 性	・時間を削減する工夫は行ったか	予算は委員報酬及び医師意見書手数料のみとなっているため、費用 の削減は難しく、さらに、法定審査会のため、規模縮小等もできな い。						

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の	
方向性	

維持

事業全体を通して評 価できた点、課題や 改善点など

審査会委員は、医療、介護、障がいなどの専門的な知識が必要となってくるが、 現在の委員の任期が長期となっており、後任者の育成が課題となってくる。

事務事業評価表

部 長 課 長 係 長 担当者

					7 和 5 牛及美心争未						
事業名			障	がし	福祉サービス事業	担当課		社会福祉課			
基本目標	2	健やな	かでや	さし	い健康・福祉のまち	担当係		障がい福祉係			
施策項目	4	障がし	ハ者支	援		計画期間	令和5	年度	~	令和7年度	
主な取組	1	生活	支援の	充実		事業区分		直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	3	1	2	障がい福祉諸費						

目的と方針 【PLAN】 障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。

事業概要 【PLAN】 障がい者に対するサービス提供に係る事務的経費のほか、障がい者団体が主体的に実施する事業への一部助成を行います。

意図の実現のために必要な

こと【PLAN】

対象

[PLAN]

 障がい者にサービスを提供するための事務費、障がい者団体に運営費の一部を助成することにより、障がい者への支援及び障がい者団体が主体的に事業を実施する。

障がい福祉サービスを円滑に提供し、障がい者団体が実施主体となる事業を助成するため、予算の確保をするとともに、障がい者団体等の運営の維持を補佐します。

事業費【DO】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
	国庫支出金	千円		0	0	0			
財	都道府県支出金	千円		0	0	0			
源	地方債	千円		0	0	0			
内	その他	千円		0	0	0			
訳	一般財源	千円		52, 003	26, 683	4, 845			
	車業费 会計	4田		52 003	26 683	1 815			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		美領値が 目標値 以上 と 実	目標値	2	2	2	2	2
補助団体数	団 体		実績値	2				
			達成率	100. 0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・社会的需要についてどうか	障害者総合支援法に基づく、障がい福祉サービスを提供し、障がい 者団体の活動を支援するためのものであるため、市民ニーズ(障が い者)、社会的受容は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	障害者総合支援法に基づく、障がい福祉サービスを提供し、障がい 者団体の活動を支援するためのものであるため、市民満足度(障が い者)及び社会貢献は高い。
効率性	・時間を削減する工夫は行ったか	障がい者団体が主体的となって実施する事業については、国庫や県 費助成がない補助金であるため、他の助成金等の活用を含め、補助 額の検討が必要である。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の	
方向性	

維持

事業全体を通して評価できた点、課題や 改善点など

障がい者団体が主体的となって実施する事業については、国庫や県費助成がない 補助金であるため、他の助成金等の活用を含め、補助が区の検討が必要である。 また、障がい者団体の維持についても検討が必要である。

事務事業評価表

部長課長係長

担当者

令和5年度実施事業

事業名		障が	い福	証して	ービス事業(介護給付)	担当課		社会福祉課			
基本目標	2	健やな	かでや	さし	い健康・福祉のまち	担当係		障がい福祉係			
施策項目	4	障がし	ハ者支	援		計画期間	令和 5	年度	~	令和7年度	
主な取組	1	生活	支援σ	充実		事業区分		一部委託			
予算科目	会計	款	項	目		大事業					
了异科日	1	3	1	2	介護給付事業費						
目的と方針	目的と方針										

目的と方針 【PLAN】 障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。

事業概要 【PLAN】

障害者総合支援法に基づく介護等サービスを給付し、障がい者支援を行います。

対象
【PLAN】①障がい者
②障がい福祉事業所意図
【PLAN】①適正な障がい福祉サービス(介護給付)を受給する。
②障がい福祉サービス(介護給付)を提供し、サービスが必要な方に安定したサービスを提供する。

意図の実現の ために必要な こと【PLAN】

障がい福祉サービス(介護給付)を受給するために必要な障がい福祉サービスの個別支援計画を適正に策定し、 障がい福祉サービス(介護給付)を安定的に提供することができる事業所に対し支援を実施する。

事業費【DO】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
	国庫支出金	千円	284, 289	304, 272	302, 744			
財	都道府県支出金	千円	142, 144	152, 136	151, 372			
源	地方債	千円	0	0	0			
内	その他	千円	0	0	0			
訳	一般財源	千円	143, 463	153, 532	152, 848			
	事業費合計	千円	569, 896	609, 940	606, 964			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		実績値が 目標値 以上 と	目標値	414	305	290	275	260
支給決定者数	人		実績値	478				
		なること	達成率	100. 0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか・社会的需要についてどうか・事務事業の優先度については高いものであるか	障害者総合支援法に規定されている事業であるため、市民(障がい者)ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	法定事業のため、社会貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	障がい福祉サービスの個別支援計画に基づき提供されるものであり、きめ細かな対応が必要とされるため、費用削減、時間削減及び 規模縮小は困難である。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の
方向性

維持

事業全体を通して評 価できた点、課題や 改善点など

受給者や1人あたりのサービス量の増加等があり、予算規模が大きくなっている。

事務事業評価表

係 長 部長 課長 担当者

					令和5年度	実施事業							
事業名	ßi	章がし	ハ福	祉サ·	ービス事業	(訓練等給	付)	担当課		社会福祉課			
基本目標	2	健や	かでや	さしい	ハ健康・福祉の	まち		担当係		障がい福祉係			
施策項目	4	障が	い者支	援				計画期間	令	和5年月	隻 ~	令和	和7年度
主な取組	1	生活	支援σ	充実				事業区分			一部委	託	
圣 質利 日	会計	款	款 項 目 大事業										
予算科目 1 3 1 2 介護給付事業費													
目的と方針 【PLAN】				-		暮らしやすい福 内な支援に向け		— . —	-	ともに	生きる社	:会づ	うくりと障
事業概要 【PLAN】	障	障害者総合支援法に基づく訓練等サービスを給付し、障がい者支援を行います。											
対象 【PLAN】)障がい者 意図 ②障がい福祉サービス(訓練等給付)を受給する。 ②障がい福祉サービス(訓練等給付)を提供し、サービスが 必要な方に安定したサービスを提供する。											
				•									

意図の実現の 障がい福祉サービス (訓練等給付) を受給するために必要な障がい福祉サービスの個別支援計画を適正に策定 ために必要な し、障がい福祉サービス (訓練等給付) を安定的に提供することができる事業所に対し支援を実施する。

事業費【DO】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
	国庫支出金	千円	274, 393	313, 456	332, 700			
財	都道府県支出金	千円	137, 196	156, 728	166, 350			
源	地方債	千円	0	0	0			
内	その他	千円	0	0	0			
訳	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	548, 787	626, 906	665, 400			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	Д	実績値が	目標値	379	366	358	350	340
支給決定者数		目標値 実績値	実績値	408				
		なること	達成率	100. 0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか・社会的需要についてどうか・事務事業の優先度については高いものであるか	障害者総合支援法に規定されている事業であるため、市民(障がい者)ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	法定事業のため、社会貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	障がい福祉サービスの個別支援計画に基づき提供されるものであり、きめ細かな対応が必要とされるため、費用削減、時間削減及び 規模縮小は困難である。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の	
方向性	

維持

事業全体を通して評 価できた点、課題や 改善点など

受給者や1人あたりのサービス量の増加等があり、予算規模が大きくなってい る。

事務事業評価表 今和5年度宝施事業

部長 課長 担当者 係 長

					节和 5 年度美施事業								
事業名			障;	がい	児通所支援事業	担当課		ネウボラ推進課					
基本目標	2	健やな	かでや	さし	い健康・福祉のまち	担当係		子育て支援係					
施策項目	4	障がし	ハ者支	援		計画期間	令和5	年度 ~		令和7年度			
主な取組	1	生活	支援の	充実		事業区分		直営					
予算科目	会計	款	項	目		大事業							
) ² 异 / ² 口	1	3	1	2	介護給付事業費								
目的と方針 【PLAN】		障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障い者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。											

事業概要 [PLAN]

社会との交流促進や訓練をとおして障がい児を支援するため、通所給付を行います。

身体障がい、知的障がい、精神障が 対象 い(発達障がいを含む)のため通所 [PLAN] による支援等を必要とする児童。

意図 [PLAN]

障がい児が地域において障害児通所支援のサービス提供を受 ける。

意図の実現の

ために必要な「障害児通所給付費及び障害児相談支援給付費を支給する。

こと【PLAN】

事業費【DO】		年度 単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (予算)	07年度 (予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)
	国庫支出金	千円	178, 608	214, 137	220, 590			
財	都道府県支出金	千円	89, 304	107, 068	110, 295			
源	地方債	千円	0	0	0			
内	その他	千円	0	3, 213	0			
訳	一般財源	千円	84, 730	102, 852	114, 773			
	事業費合計	千円	352, 642	427, 270	445, 658			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
対象児の把握と適正な給付		実績値が	目標値	100.0	100.0	100.0	100. 0	100. 0
		目標値	実績値	100.0				
		以上となること	達成率	100. 0%				_

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	==/m+n +								
	評価視点	評価の結果							
必要性	・社会的需要についてどうか	通所給付については、法令等によって市が行うものと規定されている。受給者の数は増加しており、障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、優先度は高い。							
有効性	付じさるか	社会貢献度は高い。							
効率性	・時間を削減する工夫は行ったか	具体的かつ正確な根拠資料を作成の上、国・県へ遺漏なく交付金を 申請し、財源確保を図った。							

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の	
方向性	

維持

事業全体を通して評 価できた点、課題や 改善点など

本事業は関連法令に基づき適正に執行されている。令和6年度以降も引き続き適 正な支給を行う。

事務事業評価表 **今和5年度宝城**重要

部 長 課長 係 長 担当者

					令和5	年度	実施								
事	業名			ţ	也域生活	支援	事業			担	当課		社会福祉	上課	
基本	目標	2	健やか	でやさ	_い健康 ・	福祉の	まち			担	当係		障がい福	祉係	
施策		4	障がい	者支援						計画	期間	令和 5 3	年度 ~	令和7年度	
主な	い取組	1	生活支	援の充乳	美				事業区分 一部委託						
	*****	会計	款	項目						大事	業				
予易	算科目	1	3	1 2				地域生活支援事業費							
	と方針 LAN】				にかかわり 社会生活 <i>0</i>							:め、とも	に生きる社	会づくりと障	
	类概要 LAN】				に基づき、 障がい者ま				た地域で	自立した	:生活を営	含むことが	できるよう	、各種福祉	
	対象 【PLAN】 障がい者								を営むこ	とができ	きるよう		ナービスを摂	き自立した生活 提供することに	
意図の実現の ために必要な こと【PLAN】 でがい者が適正なサービスを受給することができるよう近隣市町村の実例を確認し、サービス内容 によるしています。															
	事業費【	[DO]		年。 単位	支	04年		05年度 (実績)		6年度 予算)	07年. (予算		08年度 (予算)	09年度 (予算)	
	国庫支出金			千円		22	2, 059 16, , 029 8, 3		777	16, 777					
財源		<u> </u>		千円		0			0	8, 388 0					
内		その他	<u> </u>	千円		40	0 0 0								
訳		-般財 業費合		千円 千円			, 517	53, 4 78.		60, 091 85, 256					
(1)					†画の「数値			<i>'</i>						I	
	指標	名		単位	達成条件	区分	F	₹5年度	R6	年度	R7年	度	R8年度	R9年度	
					実績値が	目標値	直 5	54, 000	53,	, 000	52, 00	00	51, 000	50, 000	
	扶助費の	の給付	-	千円	目標値 以上 と	実績値	直 5	58, 667							
				,,	なること	達成ጃ	<u>×</u> 1	100. 0%							
(2)	チェック	フ項目									≘亚/邢	の結里			
評価視点 必 ・市民ニーズについてどうか 要 ・社会的需要についてどうか 性 ・事務事業の優先度については高いものであるか									評価の結果 障がい者が地域生活を営むにあたり必要なサービス等を提供するものであるため、市民ニーズ(障がい者)、社会的需要及び事業の優先度については高いものである。						
有 が 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか							は期	ことが	できるよ	う各種福	祉サーヒ	えを提供	するもので	た生活を営む あるため事業 社会貢献度は	
率 •	率 ・ 時間を削減する工夫は行ったか							個人ごとに定期性なサービス量を把握することにより、費用をさえる工夫を実施している。							
(3)	(3)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】														

今後の 拡充 方向性

事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など 国庫及び県費補助については、国1/2以内、県1/4以内となっており、国の予算状況により、満額の補助金が交付されない。

事務事業評価表

部 長 課長 係 長

担当者

			_	_		_	
令和	_	$\overline{}$	曲	_	+/-	#	44
一下 不	2	ъ	匣	Æ	hiii	垂	Ŧ
13 414	\sim	_	12	$\overline{}$	////	#	\mathbf{x}

					令和5	5 年度	実施	事業								
Ę	事業名		障な	がい福	祉サーし	ごス事	業(再掲)		担当	果		社会福祉			
基	本目標	2	健やか	でやさ	しい健康・	福祉の	まち			担当任	系		障がい福	祉係		
施	策項目	4	障がい	者支援						計画期	間	令和5	年度 ~	令和7年度		
主	な取組	2	障がい	者に対す	する理解の	促進			事業区分直営							
_		会計	款	項目						大事業						
予	算科目	1	3	1 2				障がい福祉諸費								
	的と方針 [PLAN]									づくりを進 策を推進し		こめ、とも	に生きる社	会づくりと障		
	事業概要 【PLAN】 精神障がい地域包括ケアシステム検討会を実施し、精神障がいに関する理解を深める取り組みや、研修等を実施し理解促進を図ります。															
	対象 [PLAN]	精神	障がい者	Ť				· M		る理解を認				もし、精神障が 上実施し理解促		
ため	意図の実現の 市の関係部署や関係機関などが構成員となっている精神障がい地域包括ケアシステム検討会を年5回実施すると ともに、研修等を実施します。															
	事業費【	[DO]		年. 単位	度	04年)		05年度 06年度 07年度 (実績) (予算) (予算)								
財	国庫支出金			千円			0		0	0						
源内		地方債 その他		千円 千円		0			0	0						
訳	_	·般財業費合	源	千円					683 683	4, 845 4, 845						
(1)					十画の「数		,	,		,						
	———— 指標	名		単位	達成条件	区分	F	 R5年度	R6	年度	R7年	度	R8年度	R9年度		
					実績値が	目標値	1	5	5 5		5	5 5		5		
	障がい地類				目標値	実績値	1	5								
7	ステム検討	会の質	実施	Ι	以上 と なること	達成率	<u>≅</u> 1	100. 0%								
(2)チェック	7項目														
				評価視点	.						評価	iの結果				
要	・市民ニー ・社会的需 ・事務事業	要に	ついてと	ごうか	高いもので	であるか	\		事業であ					法律の趣旨に 、社会的受容		
有 ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については其 待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか								則った	事業であ		害者仍	R健福祉手		法律の趣旨に が増回してい		
率									対象者の	増加等によ	り費用	 月や対応時	間が拡大す	る可能性があ		

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性

維持

事業全体を通して評 改善点など

価できた点、課題や一今後、対象者の増加等により費用や対応時間が拡大する可能性がある。

事務事業評価表 令和5年度実施事業

部 長 課 長 係 長 担当者

事業名			地	或生	活支援事業	(再掲)		担当課		社会福祉	 L課			
基本目標	2	健や	かでや	さし	ハ健康・福祉の	まち		担当係		障がい福祉係				
施策項目	4	障がし	い者支	援				計画期間	令和5	年度 ~	令和7年度			
主な取組	3	情報	· = =	ュニ	ケーションの支	援		事業区分		一部委託				
로 씀 된 ㅁ	会計	款	項	目				大事業						
予算科目	1	3	1	2		或生活支援事業費								
目的と方針 【PLAN】						暮らしやすい福 内な支援に向け				に生きる社	会づくりと障			
事業概要 【PLAN】		伊達市手話言語条例に基づき、手話の普及と理解促進を進めるため、出前講座の実施や手話奉仕員の登録及び 養成研修等を行います。												
対象 【PLAN】	恵覚障がい者 意図 聴覚障がい者が地域で生活しやすくなるよう手話の普及と理解と変われる。													

意図の実現の ために必要な こと【PLAN】

ために必要な出前講座、手話奉仕員登録、手話まつり等を実施し、手話の普及と理解促進を実施する。

-	事業費【DO】	年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
-	尹未貝【100】	単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
	国庫支出金	千円	22, 059	16, 777	16, 777			
財	都道府県支出金	千円	11, 029	8, 388	8, 388			
源	地方債	千円	0	0	0			
内	その他	千円	0	0	0			
訳	一般財源	千円	42, 517	53, 481	60, 091			
	事業費合計	千円	75, 605	78, 646	85, 256			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		実績値が	目標値	20	10	10	10	10
手話方針養成講座の参加者 数		目標値	実績値	14				
\$X		以上 となること	達成率	70. 0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか・社会的需要についてどうか・事務事業の優先度については高いものであるか	伊達市手話言語条例に基づく事業であるため、市民ニーズ (聴覚障がい者)、社会的需要及び事務事業の優先度は高いものである。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	伊達市手話言語条例に基づく事業であるため、市民満足度 (聴覚障がい者及びその関係者) 及び社会貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	地元に手話通訳者の資格を有する方が転居してきたため、福島県聴 覚者協会への派遣数を減少することができたため、費用の抑制を実 施している。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の	
方向性	

維持

事業全体を通して評 価できた点、課題や 改善点など

4年半ぶりに手話まつりを再開することができたため、関係者の活動が再開した。また、地元の手話通訳者の育成に苦慮している。

事務事業評価表 **今和5年度宝施**重業

部長 課長 係 長 担当者

	令和5年度実施事業															
į	事業名			障	がしい	者就労	サポー	- ト事	事業		担	当課		社会社	畐祉誤	Ę.
基	基本目標	2	健やな	かでや	さし	い健康・	福祉のま	ち			担	当係		障がい	福祉	係
旅	地策項目	4	障がし	ハ者支	援						計画	期間	令和5	年度 ~	ŕ	3和7年度
È	とな取組	4	雇用	・就労	の促	進					事業	《区分		直	営	
- 7.	5算科目	会計	款	項	目						大事	業				
	<i>у</i> гтт	1	3	1	2			障がい者福祉事業費								
	的と方針 【PLAN】								うすい福祉 爰に向けた				め、とす	もに生きる	社会	づくりと障
事業概要 【PLAN】 障がい者の事業所への通所等に要する経費の1/2助成を行います。																
対象 【PLAN】 事業所に通所する障がい者 意図 【PLAN】																福祉サービスの
t= &.	図の実現の かに必要な c【PLAN】	事業店	所に通	i所す [。]	る障か	い者の交	₹通費の-	一部を	€助成する	0 0						
	事業費【	[DO]			_年度		04年度		05年度		年度	07年月		08年度		09年度
		庫支出	·(全	単位			(実績)	0	(実績)	0 (1	予算) 0	(予算	.)	(予算)		(予算)
財		中人 府県支			千円		0			0	0					
源	į :	地方債			千円		0			0	0					
内		その他			戶円		0	0	4.44	0	0					
訳		-般財 業費合			<u>F円</u> F円			761 761	4, 18 4, 18		4, 882 4, 882					
(1						画の「数4	•		•							
	/ げ连川5	カン火	小心口百	一四天	心可以	当い「奴1	但口1法】	い進む	少しまりる		DO]				1	
	指標	名		単	位	達成条件	区分		5年度		丰度	R7年月		R8年度		R9年度
						実績値が 目標値	目標値		158	15	54	150		146		140
	利用。	人数)		以上 と	実績値		138							
						よること	達成率	8	87. 3%							
(2)チェック	では	にトス		[CH	CK 1	<u> </u>						I			
(2) チェック項目による評価【CHECK】 評価視点												評価	の結果			
要	要・社会的需要についてどうか								障がい者 い者) は		をサポー	-トするも	のである	るため、市	i民二	一ズ(障が
							交通費の認定が、きめ細やかに実施されているため、市民満足度は 高いものと期待できる。									

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性

改善

効・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか

改善点など

性 ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか

事業全体を通して評 交通費の算定が、日毎に相違している受給者が多く、申請者、事業所及び市担当 価できた点、課題や 者の金額算出に要する時間が多い。今後は、起点間距離による定額助成も検討し たい。

ガソリン単価が増加傾向にあるため、費用が増大している。

事務事業評価表 会和5年度宝協事業

係 長 部長 課長 担当者

労支援を実施することにより、障がい者の雇用の拡大を図

					サ和り牛皮	天心尹未									
事業名		障	がし	1者家	忧労支援専門	月員設置事業	ŧ	担当課		社会福祉課					
基本目標	2	健や	かでや	さし	ハ健康・福祉の	まち		担当係		障がい福祉係					
施策項目	4	障が	い者支	援				計画期間	令和!	5年度	~	令和7年度			
主な取組	4	雇用	・就労	の促迫	<u>隹</u>			事業区分		全部委託					
予算科目	会計	款	項	目				大事業							
了异代日	1	3	1	2		障がい者福祉事業費									
目的と方針 【PLAN】						暮らしやすい福 内な支援に向け				もに生	きる社会	きづくりと障			
事業概要 【PLAN】		障がい者の就労は困難を極めており、障がい者の地域生活への移行に伴う一般就労による生活の自立を支援するため、就労支援専門員を設置し障がい者の就労支援を行います。													
対象	±15.334	就労を希望する障がい者に対し、就労相談をはじめとした就													

意図の実現の こと【PLAN】

対象

[PLAN]

就労を希望する障がい者

る。

事業費【DO】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	2, 482	2, 482	2, 482			
	車業费 合計	千田	2 /182	2 /82	2 /82			

意図

[PLAN]

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【DO】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	件	実績値が	目標値	454	490	526	562	600
相談件数		目標値 実績・	実績値	407				
		なること 達成率	89. 6%					

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果							
必要性	・市民ニーズについてどうか・社会的需要についてどうか・事務事業の優先度については高いものであるか	従来と比較し、インターネットの発達などにより、障がい者であっても就労に関する情報が容易に取得することができるようになっているため、市民ニーズや社会的需要は低くなっている。							
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	障がい者就労支援専門員が企業面接の動向や就労後の面接等によるアフターケアを実施しているため、利用している市民(障がい者)の満足度は高く、企業と障がい者をつなげるという部分では社会貢献度も高い。							
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	従来と比較し、インターネットの発達などにより、直接の相談件数 が減少しているため、今後費用の抑制は必要となると考えられる。							

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

改善

事業全体を通して評 価できた点、課題や 改善点など

従来と比較し、相談件数等が減少しているため、委託料についての見直しが必要 であると考えられる。